

2024 年卒

5月1日時点の就職活動調査〈速報〉

キャリアス就活 2024 学生モニター調査結果 (2023年5月発行)

企業の採用広報開始から2カ月。2024年卒学生の就職活動はどのように進んでいるだろうか。5月1日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行ったところ、内定率は7割を超える高水準に達したことがわかった。

内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 5月1日時点の内定状況

- 内定率は70.2%。前年同期実績(65.0%)を5.2ポイント上回る
- 就職活動終了者は全体の34.2%。継続者は「内定あり」「内定なし」を合わせて65.9%

2. エントリー状況、選考試験受験状況

- 一人あたりのエントリー社数の平均は23.2社。前年同期調査(24.7社)を下回る
- ES提出社数は平均12.6社、筆記試験は8.9社で、前年同期を下回る。面接は同数(7.4社)

3. 就職活動の難易度

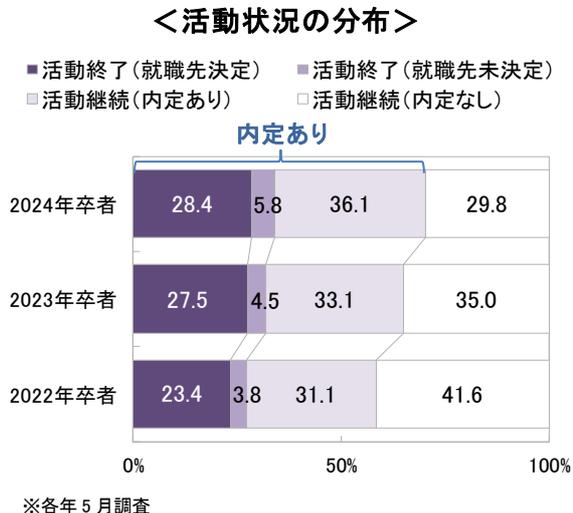
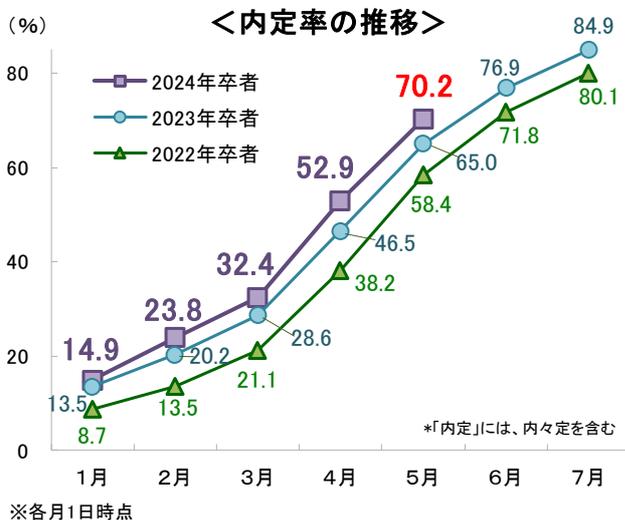
- 「易しい」が3年連続で増加し、コロナ禍前を上回った(21.4%)。「厳しい」は46.6%

※「内定」には内々定を含む

1. 5月1日時点の内定状況

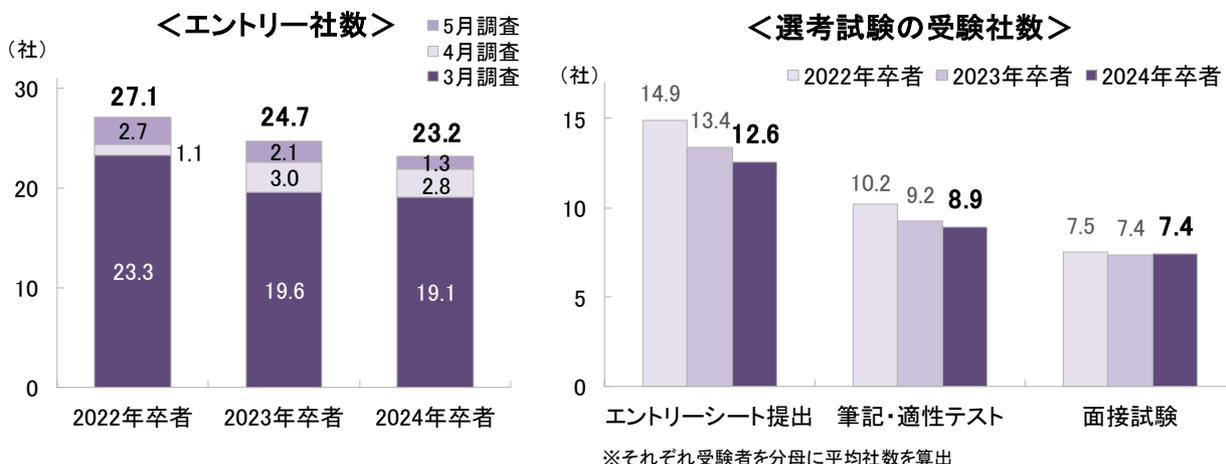
5月1日の調査時点で内定を得ている学生は全体の70.2%。4月調査(52.9%)からの1カ月間に17ポイント余り上昇し、7割に達した。5月の内定率が7割を超えたのは、2004年に現在の形式での調査開始以降初めて。ただ、先月調査に比べれば前年同期との差は縮まった(6.4ポイント差→5.2ポイント差)。

内定率は7割を超えるが、内定取得学生の半数以上が就職活動を継続していると回答。未内定者をあわせて全体の6割強(計65.9%)が活動中だ。内定の有無によらず多くの学生にとって、選考解禁の6月が正念場になりそうだ。



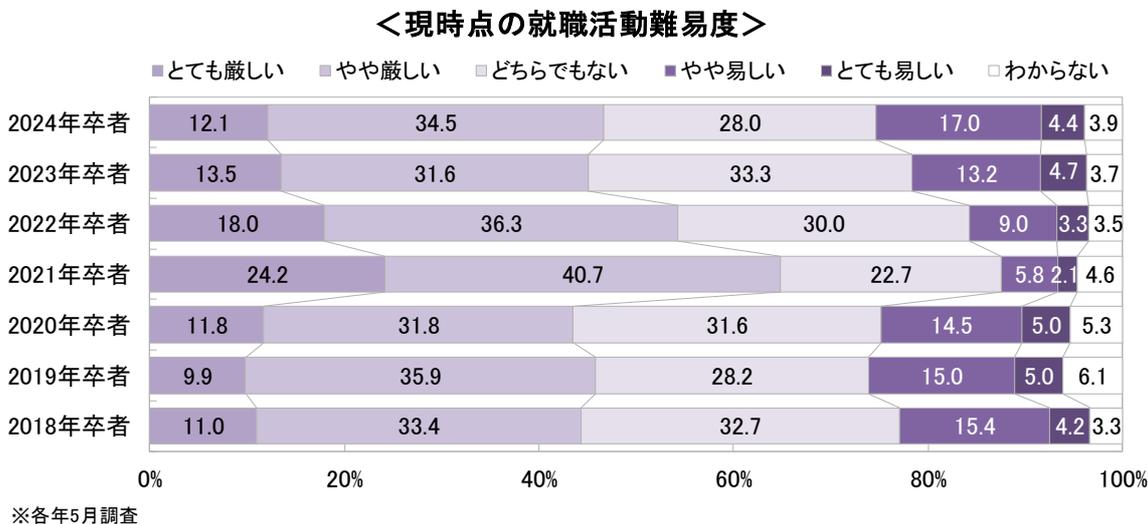
2. エントリー状況、選考試験受験状況

一人あたりのエントリー社数の平均は 23.2 社。この 1 カ月での増え幅は 1.3 社にとどまり、4 月調査に引き続き前年同期実績を下回っている。ES 提出社数と筆記試験もやや減少。早くから内定を得る学生が多かったことで、全体の活動量の減少につながったと見られる。



3. 就職活動の難易度

ここまでの就職活動の感想を尋ねた。自身の就職活動を「易しい」と感じている学生は、「とても易しい」「やや易しい」を合わせて 24.1%。3 年連続で増加し、コロナ禍前の水準を超えた。その分、「とても厳しい」が 3 年連続で減少。ただ、「やや厳しい」(34.5%) を合わせると「厳しい」と感じる学生は 4 割を超え (計 46.6%)、「易しい」を大きく上回る。



調査概要

- 調査対象 : 2024 年 3 月に卒業予定の大学 4 年生 (理系は大学院修士課程 2 年生含む)
- 回答者数 : 1,252 人 (文系男子 401 人、文系女子 380 人、理系男子 318 人、理系女子 153 人)
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2023 年 5 月 1 日~7 日
- サンプリング : キャリタス就活 2024 学生モニター